

演出：野田秀樹

寄ってらっしゃい、見てらっしゃい、
混ざってらっしゃい、文化のサーカス！！

「東京キャラバン the 2nd」開催決定！

ミュージシャン、ダブルダッチチーム、人形劇師、アーティスト、伝統芸能の担い手など、
多彩なジャンルの表現者たちの参加が決定（第一弾）

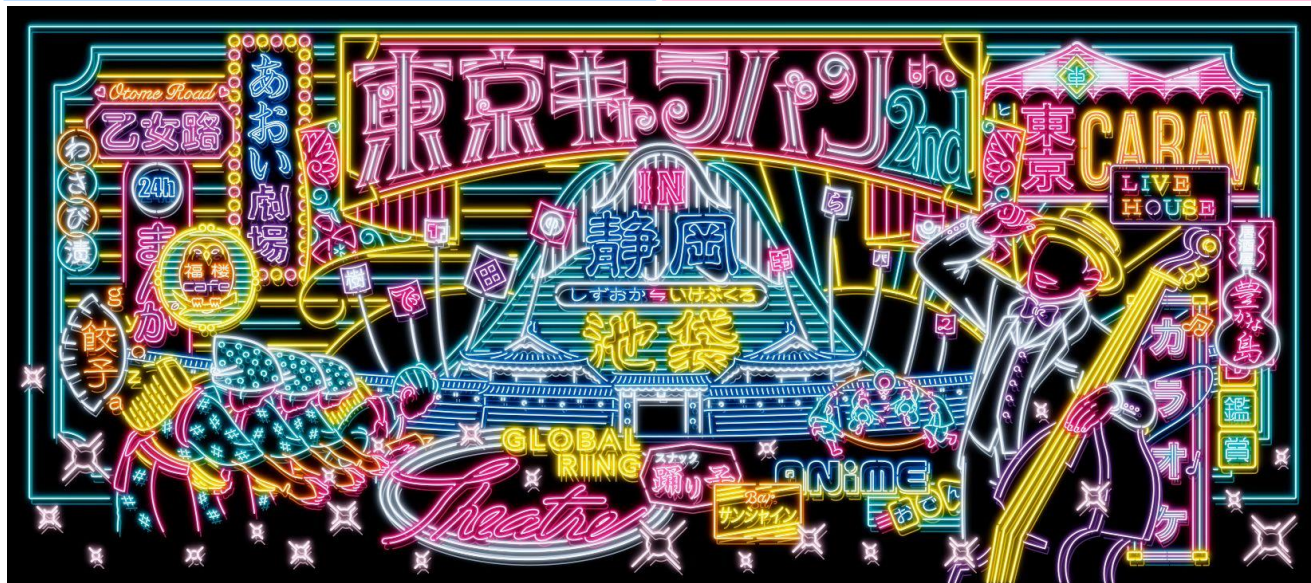
公式SNSアカウントも7月21日(木)より始動

静岡開催

2022年11月27日（日）
駿府城公園紅葉山庭園前広場

東京開催

2022年12月16日（金）／12月17日（土）
池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアター



「東京キャラバン the 2nd」は、野田秀樹（劇作家・演出家・役者）が発案した“人と人が交わるところに文化が生まれる”というコンセプトのもと、新しい表現によるパフォーマンスを創作・披露する文化サーカスです。この度、静岡（2022年11月27日（日）駿府城公園紅葉山庭園前広場）と東京（2022年12月16日（金）、12月17日（土）池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアター）にて開催が決定しました。

浅草ジンタ（ミュージシャン）、REG☆STYLE（ダブルダッチチーム）、沢則行さん（人形劇師）、宇治野宗輝さん（アーティスト）、鈴木康広さん（アーティスト）など、多彩なジャンルの表現者たちが静岡県に集い、静岡の歴史や文化を体感し、次代の文化を担う若手たちとジャンルを越えて交わり、ともに新しい表現を創り上げます。

また、今回の客人（まればと）として琉球舞踊とアイヌ古式舞踊の参加も決定しています。

そして、「東京キャラバン the 2nd」の開催にあたり、最初の創作となるメインビジュアルには、ネオンサイン調の表現で人気を博す気鋭のアーティスト／デザイナー・はらわたちゅん子さんを迎えます。

あわせて公式SNS（Instagram／Facebook）も始動し、開催概要やパフォーマンス創作の様子など、最新情報を随時発信予定です。

新たな挑戦となる「東京キャラバン the 2nd」をどうぞお楽しみに！

【本リリースに関するメディアお問い合わせ先：東京キャラバン広報事務局】

箕輪 TEL：080-9545-8569／Email：press@tokyocaravan.jp

東京キャラバン the 2nd とは

「これまで出会うことのなかった表現者たちが言語や国境、表現ジャンルを飛び越えて、混じり合うところに、文化が生まれる」。野田秀樹（劇作家・演出家・役者）が提唱したこのコンセプトのもと、2015 年から 2021 年まで展開した「東京キャラバン」では、東京、ブラジル、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉、富山、岡山、北海道と国内外を巡り、その土地の伝統芸能や文化の担い手たちとの出会いから、各地の歴史や人々が大切にしてきた貴重な文化を学び、創作に取り入れ、「東京キャラバン」でしか見ることのできない新しい表現を生み出してきました。

今回の「東京キャラバン the 2nd」では、「東京キャラバン」のスピリットを受け継ぎ、多彩な表現者たちの唯一無二のパフォーマンスから生まれる新たな“文化混流”をお見せします。多くの方々に「文化の未来を紡ぐ『物語』の種」が届くことを願って。

「東京キャラバン」が紡いだ物語（2015年～2021年）

2015年 “旅立つ前夜”

- ① 駒沢 10/8（木）-10（土）

2016年 “地球の反対側から来たお話”

- ② リオデジャネイロ 8/18（木）-21（日）
③ 東北・仙台 9/3（土）-4（日）
④ 東北・相馬 9/17（土）-18（日）
⑤ 六本木 10/21（金）-22（土）

2017年 “夏の魂の中で”

- ⑥ 京都・亀岡 8/19（土）-20（日）
京都・二条城 9/2（土）-3（日）
⑦ 八王子 9/9（土）-10（日）
⑧ 熊本 10/9（月・祝）-13（金）、15（日）

2018年 “禁断の恋”

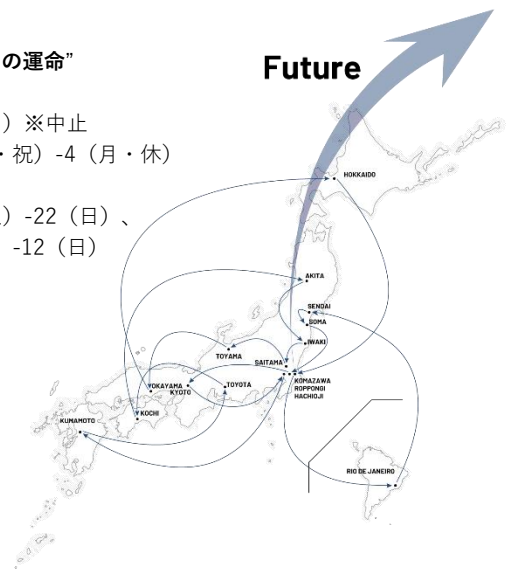
- ⑨ 豊田 3/18（日）、7/22（日）
⑩ 高知 9/16（日）
⑪ 秋田 12/8（土）-9（日）、
2/16（土）-17（日）

2019年 “予告編という名の運命”

- ⑫ いわき 5/19（日）
⑬ 埼玉 10/13（日）※中止
⑭ 富山 11/3（日・祝）-4（月・休）
⑮ 岡山 12/8（日）
⑯ 北海道 12/21（土）-22（日）、
1/11（土）-12（日）

2020年 開催中止

2021年 開催中止



「人の温もり」を取り戻す文化サーカス

「触れ合い」…ちょっと前までは、いい言葉だった。この晩秋から冬にかけてを「人肌が恋しい季節」などと軽々しく書くこともできた。なんて幸せだったのだろう。今や「ソーシャルディスタンス」などという居心地の悪い言葉が流布し、「人肌」などもってのほかとなった。けれども、こんな時にこそ敢えて挑む。人と人のつながりが断たれた二年以上余りの時間を超えて、「いざ、集おう」。「人と近づこう」。そして傍らに「他人（ひと）」がいることの幸せを感じよう（ただし、感染防止対策を万全とした上で。こう付け加えなくてはならない窮屈さはまだあるものの…）

東京キャラバンは「人の温もり」を取り戻す文化サーカスだ。目の前に繰り広げられるアートの偉業を、空中ブランコでも見るように楽しみながら「触れ合う」のは心だ。心が触れ合うことだけは、誰も止められない。

野田 秀樹

野田 秀樹

劇作家、演出家、役者。東京芸術劇場芸術監督。1955年、長崎生まれ。76年東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」結成。92年解散。ロンドン留学を経て93年に「NODA・MAP」を設立。『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『逆鱗』『足跡姫～時代錯誤冬幽霊～』『贗作 桜の森の満開の下』『フェイクスピア』など、数々の話題作を発表。歌舞伎やオペラの脚本・演出も手掛ける。また海外の演劇人と積極的に作品を創作するなど、世界を駆け巡り、意欲的に活動をしている。09年10月、名誉大英勲章OBE受勲。09年度朝日賞受賞。11年6月、紫綬褒章受章。2022年7月より『Q』:A Night At The Kabukiを東京・大阪・ロンドン・台北と国内外4都市を巡るワールドツアーで上演予定。



開催概要

- 名 称： 東京キャラバン the 2nd
- 日程&会場： ① 静岡
2022年11月27日（日） 13:00～／16:30～
駿府城公園紅葉山庭園前広場（静岡県静岡市葵区駿府城公園1-1）
② 東京
2022年12月16日（金） 16:30～、12月17日（土） 13:00～／16:30～
池袋西口公園野外劇場グローバルリング シアター（東京都豊島区西池袋1-8-26）
- 観 覧： 無料、事前申込制・応募者多数の場合は抽選
- 応募方法： 公式ウェブサイト（<https://tokyocaravan.jp/the2nd>）よりご応募ください。
- 応募受付： ① 静岡 2022年9月28日（水） 11:00～10月31日（月） 23:59
② 東京 2022年9月28日（水） 11:00～11月14日（月） 23:59
※詳細は後日発表します。
- 演 出： 野田秀樹（劇作家・演出家・役者）
- 主 催： 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、
一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク(東京のみ)
- 後 援： 静岡県、静岡市（静岡のみ）、豊島区（東京のみ）
- 連 携： 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場（東京のみ）
- 参加アーティスト：
浅草ジンタ（ミュージシャン）、REG☆STYLE（ダブルダッチチーム）、沢則行（人形劇師）、
宇治野宗輝（アーティスト）、花柳貴伊那（日本舞踊家）、“東京キャラバン”アンサンブル
（石川詩織、上村聡、川原田樹、末富真由、手代木花野、間瀬奈都美、松本誠、的場祐太、
水口早香、吉田朋弘）、琉球舞踊（立方：玉城匠、大浜暢明（静岡のみ）、上原崇弘（東京のみ）
地謡：玉城和樹、仲嶺良盛）、公益社団法人北海道アイヌ協会（アイヌ古式舞踊）、
静岡県立横須賀高等学校郷土芸能部（三社祭礼囃子）ほか
※第二弾参加アーティストの情報は、後日発表予定です。
- 参加クリエイター：
鈴木康広（美術）、ひびのこづえ（衣装）、赤松絵利（ヘアメイク）、青木兼治（映像撮影）
※第二弾参加クリエイターの情報は、後日発表予定です。 ほか
- メインビジュアル：はらわたちゅん子（アーティスト／デザイナー）

※荒天の場合は中止となります。
※新型コロナウイルス感染症の状況により、実施内容等に変更が生じる場合があります。
※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。
- 公式ウェブサイト：<https://tokyocaravan.jp/the2nd>



公式SNSアカウント始動

7月21日より、公式SNSアカウントが始動します。「東京キャラバン the 2nd」の最新情報や舞台裏のほか、参加アーティストによるコメントなどを投稿していく予定です。

- 公式SNS： Instagram <https://www.instagram.com/tokyocaravan/>
Facebook <https://www.facebook.com/tokyocaravan.official>

プロフィール

参加アーティスト from 東京キャラバン the 2nd

浅草ジンタ（ミュージシャン）

2002年頃、浅草でローカル＆グローバルをテーマに活動開始。のちに三遊亭小遊三より「浅草ジンタ」と命名され、公益社団法人 落語芸術協会に客員所属する孤高の土着型ロック・バンド。地元へ根ざした活動をしつつ、世界最高峰のグラストンベリー、フジロックを始めとする国内外のフェスに多数出演。その他、ビートたけしや楳図かずおとのコラボレーション、TVドラマ劇伴書き下ろし、国民的番組『笑点』出演、舞台音楽制作等、幅広く活躍中。

「東京キャラバン the 2nd」参加メンバー：

Oshow (Vo. & Wbass)、Shinya (Guitars)、Ryosuke Sudo (Trumpet)、AG (Drums)、Youki Yano (Tenor Saxophone)、TOHO (Tuba & Euphonium)



REG☆STYLE／レグスタイル（ダブルダッチチーム）

世界を代表するプロダブルダッチチーム。NBA JAPAN GAMESやRed Bull AIR RACE World Championshipなど数々のBIGイベントにGUEST出演の経験を持ち、ダブルダッチの祭典『DOUBLE DUTCH CONTEST WORLD』では世界大会3連覇という偉業を果たす！二本のロープを巧みに操り、迫力あるアクロバットからダンスまで彼らの織りなすパフォーマンスは、皆様を魅了します！！

「東京キャラバン the 2nd」参加メンバー：KO-YA、KAI、KENGO



沢則行（人形劇師）

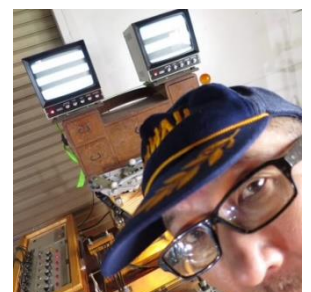
北海道小樽市出身。1991年にフランス、1992年に文化庁在外研修派遣でチェコへ。以後、プラハを拠点に世界20ヶ国以上で公演、また、チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部を始め、多くの教育現場で講座、ワークショップを行う。ヨーロッパ文化賞「フランツ・カフカ・メダル」授与、EU文化都市賞など、国際的受賞多数。日本国内では、NHK「みんなのうた」映像制作、「SWITCHインタビュー 達人達」出演、東京2020大会の公式文化プログラム「東京2020 NIPPON フェスティバル〜巨大人形プロジェクト『モッコ』」の人形デザイン設計および人形製作操演総指揮を担う。極小から巨大まで、あらゆる人形（＝フィギュア）を創造し操演するところから、フィギュアアートシアタの第一人者とされる。



撮影：Youhei KUBOTA

宇治野宗輝（アーティスト）

1964年東京都生まれ。90年代より「LOVE ARM（ラブ・アーム）」シリーズをはじめとするサウンドスカルプチャーを制作、またそれらを使ったライブパフォーマンスを行っている。2004年からは、大量消費社会が急速に拡大した20世紀以降の「物質世界のリサーチ」を基盤に、楽器、家電製品や自動車、家具、中古レコードなど、世界中どこにでもある日常的なモノと技術を再構成し、近代の文化を再定義するサウンド／スカルプチャー／パフォーマンスの複合プロジェクト「The Rotators」に取り組んでいる。2013年、個展「POP/LIFE」彫刻の森美術館（箱根）、ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」に参加ほか、日本のみならず世界各地の展覧会に参加している。



プロフィール

参加アーティスト from 東京キャラバン the 2nd

花柳貴伊那（日本舞踊家）

1998年生まれ。6歳より日本舞踊を花柳貴答師に師事。

2008年坂東玉三郎特別舞踊公演『鏡獅子』胡蝶の精役、2010年新春花形歌舞伎にて同役を務める。2020年東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業。安宅賞、同声会新人賞、アカサス音楽賞、東京藝大アートフェスにて日本舞踊創作曲『光』が優秀賞を受賞。2021年度第15回奏楽堂企画『朔夜姫一続・竹取物語ー』作・演出・主演。東京ミッドタウン日比谷〈NEXTアーティスト〉に選出される。

自身で構成した創作日本舞踊作品の発表を主として活動。日本舞踊の古典的表現を要に、洋楽・現代曲など多分野の音楽への振付を行う。

現在、同大学院音楽研究科に在籍中。



撮影：nishikunio

“東京キャラバン”アンサンブル

2015年「東京キャラバン〜プロローグ〜」を機に、野田秀樹の創作活動を支えるパフォーマーたちによって結成された演劇アンサンブル。野田秀樹が「東京キャラバン」に書き下ろした「物語」を演劇的に表現し、2015年の駒沢『旅立つ前夜〜1940年の子供たち〜』、2016年のリオデジャネイロ、仙台、相馬、六本木での『地球の反対側から来たお話』、2017年の京都『夏の魂の中で』、2019年の秋田『禁断の恋』、2020年の北海道『予告編という名の運命』などのパフォーマンスに参加し、観客を「東京キャラバン」の世界へと誘う。

「東京キャラバン the 2nd」メンバー：石川詩織、上村聡、川原田樹、末富真由、手代木花野、間瀬奈都美、松本誠、的場祐太、水口早香、吉田朋弘

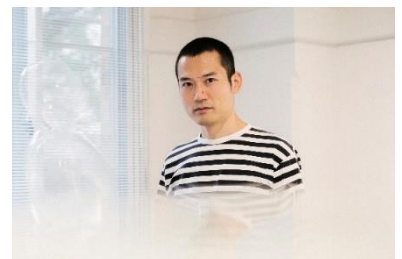


撮影：篠山紀信

参加アーティスト・クリエイター from 静岡

鈴木康広（アーティスト）

1979年静岡県生まれ。日常の見慣れた事象に新鮮な切り口を与える作品によって、世界の見方を問いかける活動を続けている。代表作に《ファスナーの船》、《空気の人》、《まばたきの葉》など。美術館をはじめ、パブリックスペースでのコミッションワークなど国内外で作品展示を展開。2014年に水戸芸術館、2017年に箱根 彫刻の森美術館、2021年にはイスラエルのティコティン日本美術館にて個展を開催。主な国際展として、セビリアビエンナーレ2008、瀬戸内国際芸術祭2010、第4回モスクワビエンナーレに出展。第1回ロンドン・デザイン・ビエンナーレ2016日本代表。2014毎日デザイン賞受賞。2017年度文化庁文化交流使。令和4年度静岡県文化奨励賞受賞。



撮影：Timothee Lambrecq

静岡県立横須賀高等学校 郷土芸能部（三社祭礼囃子）

広大な遠州灘と緑豊かな小笠山に挟まれ、祭や街並、人々の心に江戸情緒を残す「遠州横須賀」にて平成8年創部。故郷の誇りである祭囃子を習い覚え伝えようと練習を重ねる。笛・太鼓・鉦で名調子を奏で、火吹男・岡目・般若の舞と粋な囃子方で盛り上げる。地元を愛し、地域リーダーとなるべく、出演やボランティア活動を続ける。

全国高等学校総合文化祭13回出場。平成30年度静岡県文化奨励賞受賞。令和2年度「地域伝統芸能奨励賞」受賞、令和3年度「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定等。



プロフィール

参加アーティスト from 沖縄

琉球舞踊（立方：玉城匠、大浜暢明（静岡のみ）、上原崇弘（東京のみ） 地謡：玉城和樹、仲嶺良盛）

琉球舞踊は古代の祈りから生まれた祭祀芸の舞踊を基に、琉球王国の宮廷芸能として花開いた。時代の荒波をこえて琉球の心を伝え、2009年に重要無形文化財となり、2021年には2人の人間国宝も誕生するなど高い評価を得ている。今回は琉球舞踊の他、沖縄独自の歌舞劇「組踊」や琉球古典音楽などの分野でも活躍し、伝統を受け継ぎつつ、国内外で新たな挑戦を続ける若手・中堅メンバーが参加する。



撮影：篠山紀信

参加アーティスト from 北海道

公益社団法人北海道アイヌ協会（アイヌ古式舞踊）

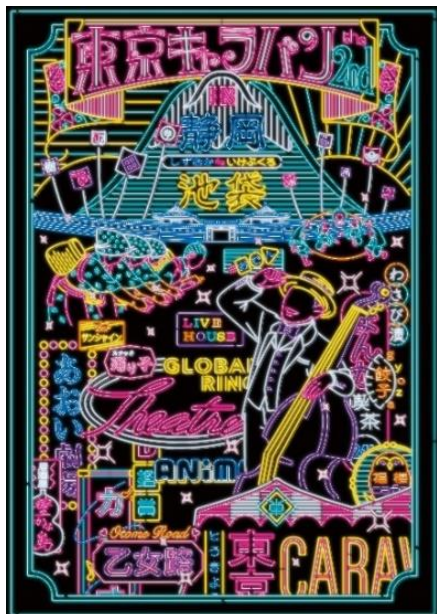
東京2020オリンピックからアイヌ文化を世界へ。

全てのものを敬う心から築かれたアイヌ文化には世界平和に通じるものがある。

そんなアイヌ民族の心を、世界に誇れる日本の心の一つとして世界に発信していく取組を進めており、東京2020オリンピックの公式プログラムとして、札幌大通公園の舞台で世界に向けて4日間5回にわたりパフォーマンスを披露した。



メインビジュアルを、はらわたちゅん子さんが創作！



アーティストコメント

日本一の山に見守られながらたくさんの伝統を生み出す静岡と、都心への交差点として独自の風俗・文化が育つ池袋。

富士山の湧き水が街を潤しながら駿河湾へ流れ出しているように、東京キャラバン the 2ndが生み出す希望によって誰かの心が煌めいて、また次の希望に繋がりが広がっていったら素敵です。

そんな想いを込めて、かつて静岡茶などを海外へ輸出する際に使用されていたお茶のラベル“蘭字”をモチーフに、それぞれの街の風景を私なりのスタイルで描かせていただきました。茶摘み娘たちは、街の煌めきを摘んで集めています！

はらわた ちゅん子（アーティスト／デザイナー）

アジアの喧騒や日本の路地にインスピレーションを受けながら、ネオンサインのデザインやネオンサイン調のイラストレーションを制作している。

